

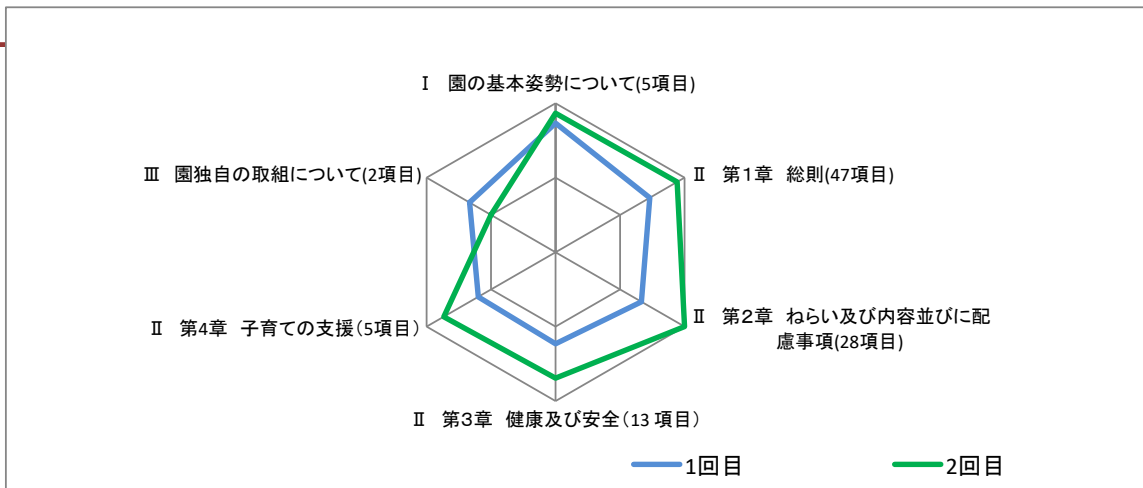
<評価方法>

十分理解できている(十分にできている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果 (チェック2回分)

評価	1回目				2回目			
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	3	2	0	0	4	1	0	0
II 第1章 総則(47項目)	9	38	0	0	39	8	0	0
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	0	28	0	0	28	0	0	0
第3章 健康及び安全(13項目)	0	11	2	0	7	6	0	0
第4章 子育ての支援(5項目)	0	4	1	0	3	2	0	0
III 園独自の取組について(2項目)	0	2	0	0	0	1	1	0

レーダー



【評価所見】

評価

- ・前期に比べ後期のポイントが高くなっている傾向から、前期の自己評価を踏ま自己の課題点に気づき 外部研修への参加や園内研修などを通し、自己研鑽し幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた幼児理解への向上につながった。

課題

- ・新型コロナの影響により、幼少連携や地域交流が行えず園独自の取組については課題が残った。  
コロナ禍における取り組み方を工夫していく。
- ・0～5歳までの施設として乳児保育、幼児教育への理解や知識をより深めるために、園内研修を充実させ職員全体で教育保育活動を行っていきたい。